

名古屋市営交通事業経営計画 2023

(2019-2023) の実施状況

名古屋市交通局

目 次

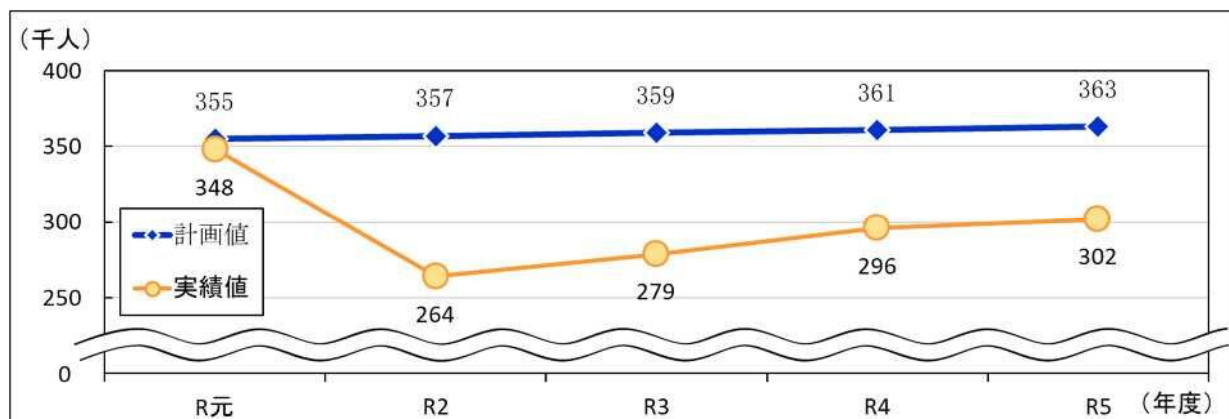
1	計画目標と決算（見込）の比較・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	計画期間中の主な事業の実施状況・・・・・・・・・・	3
3	事業の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・	1 1

1 計画目標と決算（見込）の比較

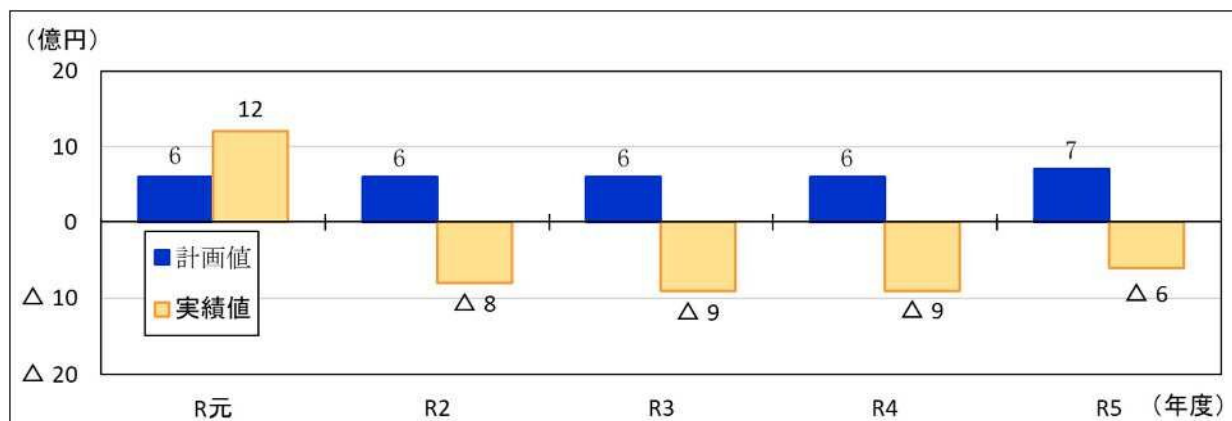
(1) 市バス事業

区 分	令和 5 年度 計画目標 (A)	令和 5 年度 決算(見込) (B)	差引 (B-A)
1 日当たり乗車人員	363千人	302千人	△61千人
経常収支	7億円	△ 6億円	△13億円
債務超過額	—	14億円	14億円（悪化）

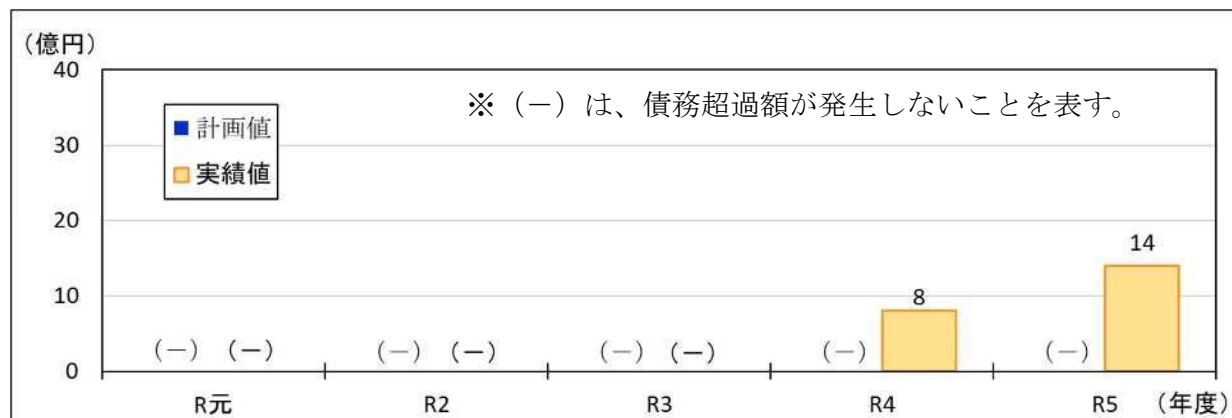
1 日当たり乗車人員



経常収支



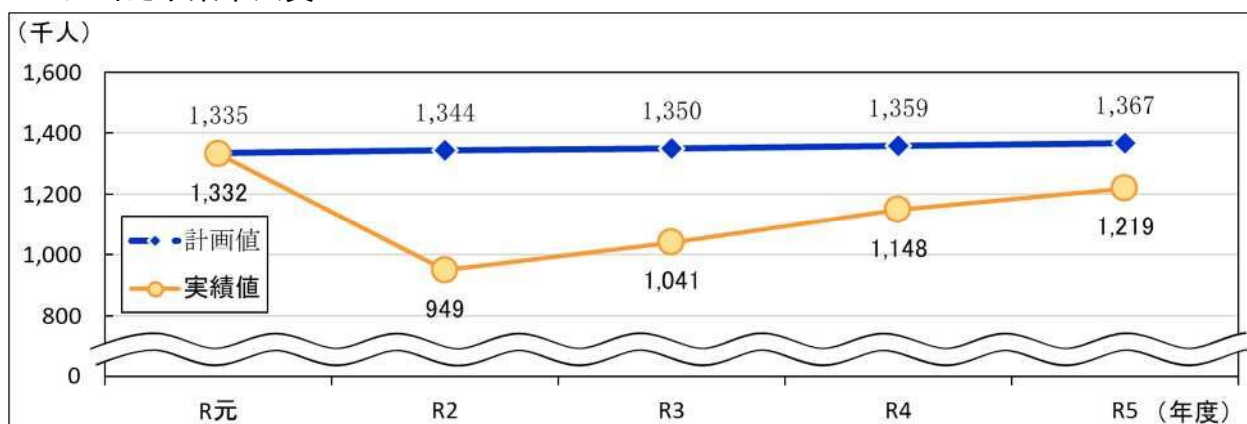
債務超過額



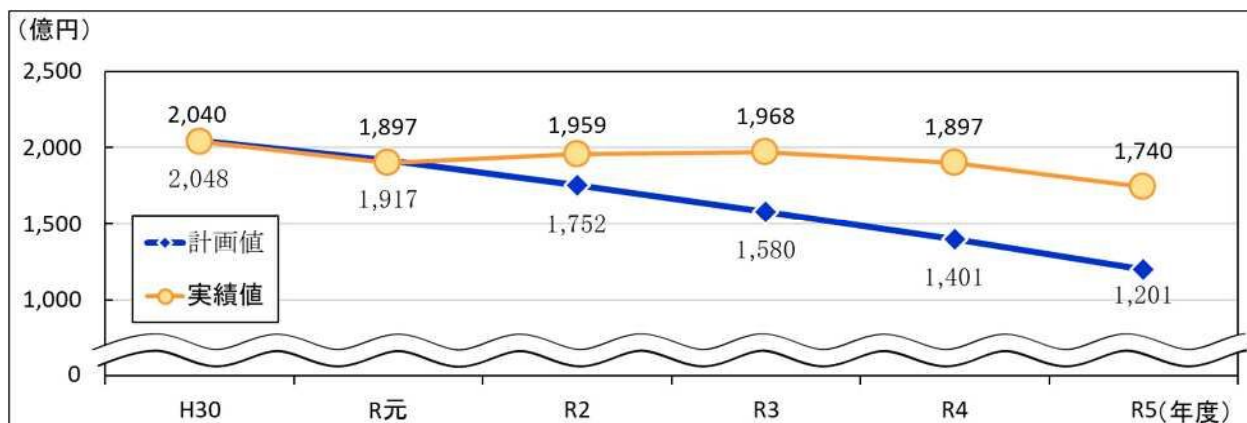
(2) 地下鉄事業

区 分	令和 5 年度 計画目標 (A)	令和 5 年度 決算 (見込) (B)	差引 (B-A)
1 日当たり乗車人員	1,367千人	1,219千人	△148千人
実質資金不足額	1,201億円	1,740億円	539億円 (悪化)
累積欠損金	1,545億円	1,970億円	425億円 (悪化)

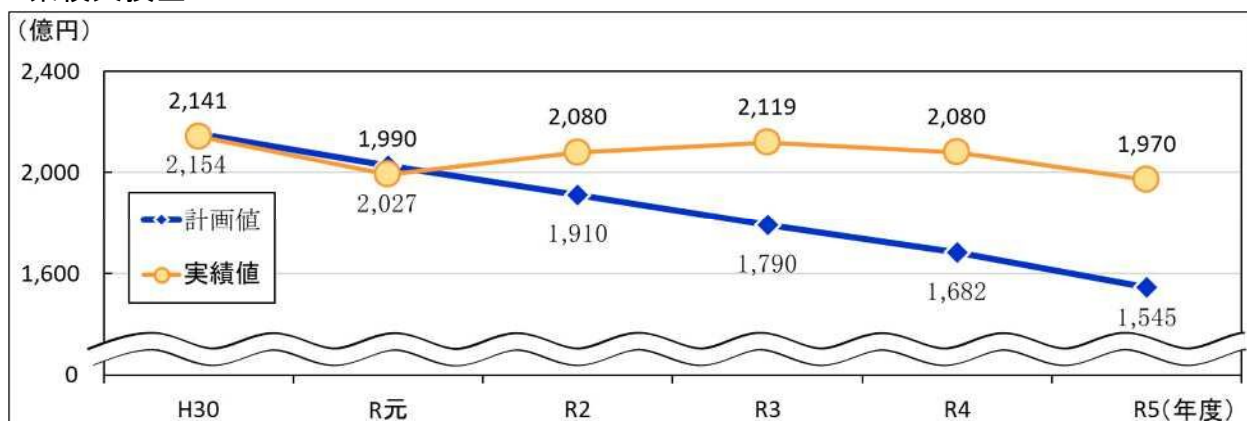
1 日当たり乗車人員



実質資金不足額



累積欠損金

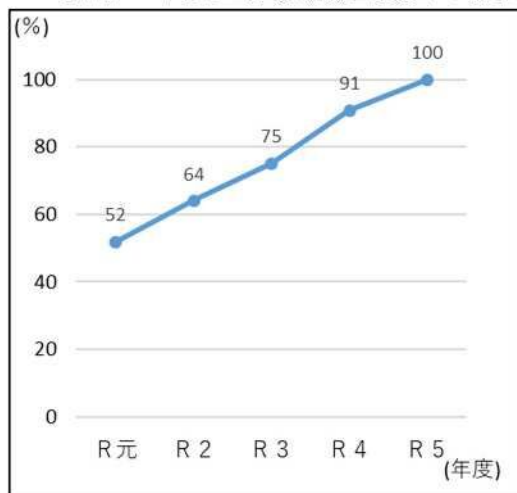


2 計画期間中の主な事業の実施状況

施策1 安全・安心の推進

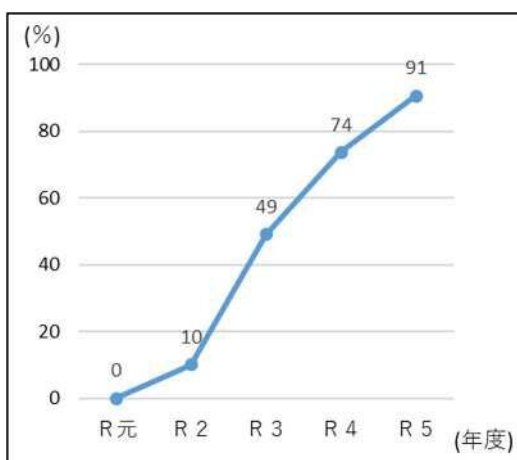
市バス事業では、バス車両への安全確認放送装置が全車両で完了し、地下鉄事業では、駅構内カメラの機能強化や安全利用上必要な箇所への増設などとともに、鶴舞線において、地下鉄駅からの転落事故や車両との接触事故の未然防止のため、可動式ホーム柵の整備に取り組みました。また、安全対策の強化として、災害・危機対応力の向上を図りました。

バス車両への安全確認放送装置の設置拡大



在籍全車両に設置が完了しました。

録画機能付き駅ホームカメラの整備率



可動式ホーム柵整備中の鶴舞線を除いて、駅ホームカメラの録画化は完了しました。

可動式ホーム柵の整備



ホームにおける安全性の向上を図るため、令和2年度に名城線・名港線で設置が完了するとともに、鶴舞線で可動式ホーム柵の整備を進めています。

安全対策の強化



車内での傷害事件を想定した実践的な訓練を警察と連携して繰り返し実施しました。

市バスの有責事故件数



市バスの運行ミス件数



有責事故及び運行ミスについては減少傾向にあります。令和 4 年度は増加したものの令和 5 年度は、前年度から有責事故は車内事故の減少、運行ミスは路線誤りの減少により、大きく減少させることができました。なお有責事故については、過去 10 年で最も少ない件数でした。

地下鉄駅ホームからの転落事故件数の推移

区分	R元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
東山線	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
名城線・名港線	1 6 件	2 件	1 件	0 件	0 件
鶴舞線	1 5 件	8 件	9 件	1 3 件	1 2 件
桜通線	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
上飯田線	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
計	3 1 件	1 0 件	1 0 件	1 3 件	1 2 件

施策2 快適・便利の向上

より快適・より便利にご利用いただけるよう、バスターミナルの環境改善やバス停留所施設の整備・改修、地下鉄駅・トイレなどのリニューアルに取り組むとともに、バリアフリー化の推進としてホームと車両の段差・隙間の解消やエレベーターの整備を進めました。また、環境対策として燃料電池バス(1両)を市バスとして運行するとともに、わかりやすく利用しやすい環境づくりとして、旅行者向け券売機や地下鉄運行情報提供大型モニターを導入するとともに、バス車内の液晶式停留所名表示器の設置拡大などに取り組みました。

バスターミナルの環境改善



※リニューアル後の本郷バスターミナル

快適なバス待ち環境づくりのため、照明のLED化やベンチの設置、上屋の塗装替えなど整備しています。

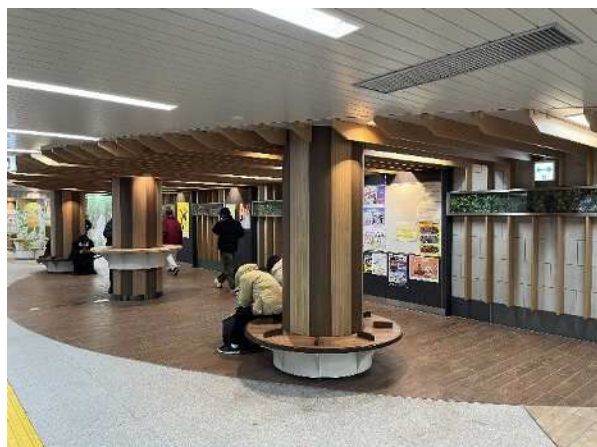
整備完了 7か所(5ヵ年)

燃料電池バス



令和5年度から、環境局が試行導入した燃料電池バスを市バスとして運行しています。(1両)

地下鉄駅のリニューアル



※令和4年度に整備が完了した千種駅

開業後50年以上経過した駅について、明るく清潔感のある快適・便利な駅空間を目指し、壁・床・天井・照明などのリニューアルを進めています。

整備完了 東山線 千種駅(令和4年度)

整備中 名城線 栄駅
名城線 上前津駅
名城線 名城公園駅

地下鉄駅構内トイレのリニューアル

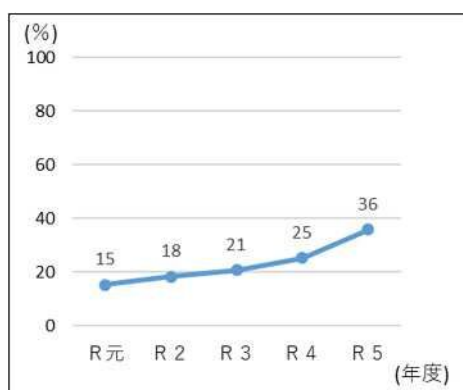


※洋式化率（整備対象駅数 87 駅）

訪日外国人や高齢者をはじめ、誰もが快適にご利用いただけるよう、すべての便器の洋式化や温水洗浄便座の設置等を進めています。



バス車内への液晶式停留所名表示器の設置拡大



市バスのご利用に不慣れな方にも安心してご利用いただけるよう、ピクトグラムを活用した乗換案内や4つ先までの停留所名を表示する経路地案内など、わかりやすい案内を行う液晶式停留所名表示器の設置を進めています。



旅行者向け券売機の導入



名古屋観光に訪れる国内外からの旅行者の方が、より簡単・便利に地下鉄をご利用いただけるよう、観光スポットや駅番号などから地下鉄経路が検索でき、そのまま乗車券の購入が可能な旅行者向け券売機を設置しました。

32インチの大型タッチディスプレイを搭載し、大画面で情報が分かりやすく、直感的に操作が可能で、日本語、英語、中国語（簡体・繁体）、韓国語の4か国5言語に対応しています。

設置完了（令和4年度）

名古屋駅6台、栄駅3台、金山駅2台



※画面イメージ

施策3 まちの活性化への貢献

効果的な利用促進策として、伏見駅に多数の店舗を一体的に展開する駅ナカ事業を実施したほか、プロスポーツチームとの連携、ウォーキングイベントやスタンプラリー、体験型謎解きイベントなどを実施しました。

駅ナカ事業の展開



※駅の利便性及び魅力向上を図るため、多数の店舗を一体的に展開する駅ナカ商業施設「ヨリマチFUSHIMI」を令和元年12月に開業。

市営交通100年祭メインイベントの開催



※市営交通100周年を記念し、お客さまに感謝を伝えるとともに、市営交通への理解と愛着を深めていただくため、「過去・現在・未来」をテーマにした市営交通100年祭メインイベント「100YEARS FESTIVAL!!」を名古屋市中企業振興会館（吹上ホール）にて開催しました。（来場者数：約8000人）

ウォーキングイベントの拡充



※参加者の自由な日時に参加できるヒラメキさんぽや名古屋市立大学と連携した駅ちかウォーキングを開催しました。

プロスポーツチームと連携した利用促進策



※Bリーグプロバスケットボールチームの名古屋ダイヤモンドドルフィンズとタイアップし、「市バス・地下鉄来場キャンペーン」を開催しました。

スタンプラリーや体験型謎解きイベントの実施



※令和5年度の市営交通101周年にちなみ、地下鉄駅や市バス沿線の施設101か所を巡るスタンプラリーを実施しました。

※市バス・地下鉄を利用し、市内を探索しながら街なかに仕掛けられた謎を解きゴールをめざす体験型イベントを実施しました。

企業・大学・地域・他部局等との連携



※令和5年9月26日に地下鉄金山駅に、名古屋学芸大学の学生がラッピングデザインした簡易設置型ベビーケアルームを設置しました。
(株式会社オープンハウスグループからの寄贈)

施策4 安定した運営基盤の確立

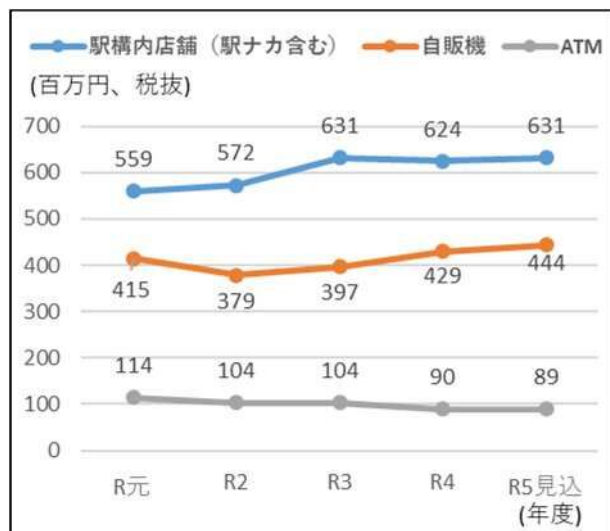
将来にわたって、安定的に交通サービスを提供するため、人材確保の取り組みのほか、資産の有効活用や広告料収入の確保とともに、市バスの管理委託及び地下鉄のワンマン化の拡大など経営基盤の強化を図りました。

安定的な人材確保のための取り組みの実施



交通局採用サイトの改修を行い、女性活躍／ワークライフバランスページや、女性職員のインタビューページを追加しました。

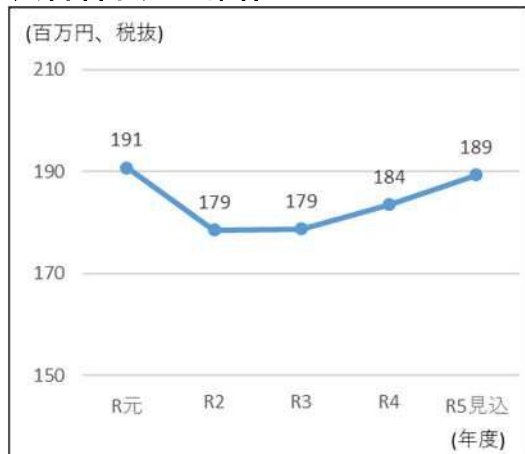
資産の有効活用



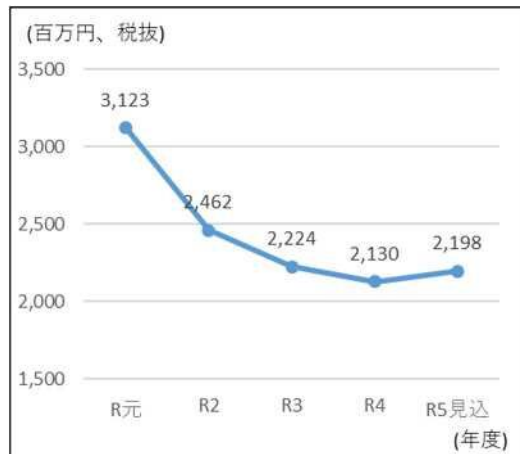
コロナの影響により市バス・地下鉄の乗車人員は大きく減少したものの、駅構内店舗や自動販売機など資産の有効活用収入については、安定的な収入を確保している。

※土地物件貸付料（附帯事業収入）の推移

広告料収入の確保



※市バスの広告料収入推移



※地下鉄の広告料収入推移

※広告料収入は、コロナの影響等により大きく減少し、特に地下鉄の令和5年度の広告料収入はコロナ前の令和元年度の約7割となっています。



車両や施設などを有効活用し、デジタルサイネージ広告やホーム柵広告の設置拡大などにより、広告の販促を促進します。

※東海三県の鉄道事業者で初めてとなる車内デジタルサイネージ広告の設置を進めており、令和6年1月8日から広告放映を開始しました。



※名古屋駅南改札内の入場専用の改札機正面に大型デジタルサイネージ広告を設置しました。

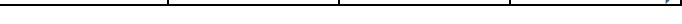
寄附金収入の確保



バス車両部品である「市バス局章」を返礼品として採用しました。

3 事業の実施状況

番号	事業名	計画年度					実績
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
1	災害・危機対応力の向上	実施					実施
2	災害の発生に備えた情報発信の強化	(情報発信の強化) 実施					実施
		(安全行動の啓発) 実施					実施
3	輸送の安全に関する研修等の実施	実施					実施
4	運輸安全マネジメントの推進	実施					実施
5	市バス・地下鉄マナー啓発	実施					実施
6	ドライブレコーダーの機能強化	更新・増設					更新・増設
7	バス車両への安全確認放送装置の設置拡大	設置				完了	完了
8	可動式ホーム柵の整備	(名城線・名港線) 完了					完了
		(鶴舞線) 検討			整備方針策定		整備方針策定・工事
9	駅構内カメラの機能強化	検討	整備				整備
10	地下鉄構造物の耐震補強	施工					施工
11	駅出入口止水板の改修	完了					完了
12	第2米変電所の移設	整備				完了	完了
13	地下鉄構造物の長寿命化	補修					補修
14	地下鉄電気設備の更新	更新					更新

番号	事業名	計画年度					実績
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
15	エレベーター・エスカレーターの更新	(エレベーター) 更新 					更新
		(エスカレーター) 更新 					更新
16	地下鉄車両の主要電気機器更新	更新 					更新
17	地下鉄駅のリニューアル	整備 					整備
18	駅構内トイレのリニューアル	整備 					整備
19	地下鉄駅ホームの冷房化の推進	整備 					整備
20	わかりやすい案内サインの整備	整備 					整備
21	バスターミナルの環境改善	実施 					実施
22	バス停留所施設の整備・改修	整備・改修 					整備・改修
23	ホームと車両の段差・隙間の解消	整備方針の策定	整備 				整備
24	エレベーターの整備	(改札内乗換エレベーター) 完了 					完了
		(交差駅 地上へのエレベーター) 事前調査	整備				整備
		(利用実態調査) 検討	調査 			整備方針策定	整備方針策定
25	地下鉄車両の更新	更新 					更新

番号	事業名	計画年度					実績
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
26	使いやすいつり革の設置	(つり革増設) 増設 					完了
		(高さの低いつり革に交換(一部)) 検討	交換 				完了
27	エスカレーター音声案内装置等の整備	(エスカレーター音声案内装置) 完了 					完了
		(券売機設置場所の車いす対応) 完了 					完了
28	バス車両の更新	更新 					更新
29	次世代自動車導入の検討	情報収集・検討 					情報収集・検討・調整
30	蛍光灯のLED化	(駅構内) 更新 			(地下鉄車内)		更新
31	バス車内への液晶式停留所名表示器の設置拡大	設置 					設置
32	バス停留所へののりば番号等の表示	表示 				完了	完了
33	地下鉄運行情報提供大型モニターの導入	整備方針の検討		整備 		完了	完了
34	旅行者向け券売機の導入	導入事例の調査	システム設計 		完了		完了
35	地下鉄券売機の多言語化	完了 					完了
36	液晶式車内案内装置の多言語化	整備 	完了				完了
37	地下鉄駅の旅客案内表示装置の更新	完了 					完了

番号	事業名	計画年度					実績
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
38	タブレット端末の全駅配備	完了 					完了
39	コンシェルジュの配置	実施 					休止
		新型コロナウイルスの影響で国内外旅行者が減少したため、令和3年4月から活動を休止したことによるもの。					
40	地下鉄一日乗車券の24時間券化	完了 					完了
41	マナカの利便性向上	実施 					実施
42	キャッシュレス化の検討	検討 					検討・実施
43	リニア中央新幹線の開業に向けた名古屋駅の整備	整備 					整備
44	主要駅の混雑緩和対策の検討	調査・検討 					調査・検討
45	効果的な駅ナカ事業の展開	(伏見駅ナカ商業施設) 完了 					完了
		(次期駅ナカ事業) 検討 					検討
46	戦略的な情報発信	実施 					実施
47	「なごや乗換ナビ」における検索機能の充実	完了 					完了
48	バスの乗り方教室の開催	実施 					実施
49	イベントの実施	実施 					実施
50	企画乗車券の発売	実施 					実施
51	ハッチーキッズクラブの運営	実施 					実施
52	効果的な乗客誘致施策の検討	検討・実施 					検討・実施

番号	事業名	計画年度					実績
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
53	企業・大学・地域・他 部局等との連携	実施 					実施
54	安定的な人材確保 のための取り組み の実施	実施 					実施
55	働きやすい環境づく り	実施 					実施
56	制服の機能性向上	検討 			完了		完了
57	接客サービス向上 のための取り組み の実施	実施 					実施
58	各種コンクールの実 施	実施 					実施
59	資産の有効活用	(旧名城工場跡地利用) 施設の 取り壊し	貸付準備				貸付準備
		(駅構内店舗) 増設等 					検討
60	広告料収入の確保	実施 					実施
61	市バスの管理委託 の拡大	実施 	完了				完了
62	地下鉄のワンマン運 転化の拡大			実施 	完了		完了
63	市バス事業の経営 基盤強化	実施 					実施